

【目的】がん患者及び家族への緩和ケアに関する医療機関による情報提供の実態を明らかにする。

【方法】千葉県内のがん診療連携拠点病院(以下、拠点病院)14施設、及び緩和ケア診療を行っている千葉県内の一般病院(以下、一般病院)34施設を対象施設とし、各施設のホームページにおける緩和ケア情報の掲載状況について拠点病院と一般病院で比較・検討を行なった。また、平成24年10月時点との比較・検討も同じく行なった。

【結果・考察】拠点病院と一般病院との比較において、緩和ケア情報を掲載している施設は拠点病院が100%であったのに対し、一般病院は約4割に留まった。しかし、掲載内容に関しては、両者間に大きな差は見られなかった。これらより、緩和ケア情報の掲載の有無に差は見られたものの、掲載している施設に関してその内容は変わらないことが明らかとなった。さらに平成24年時との比較において、拠点病院については全施設において情報を掲載しているのは変わらなかったが、その内容(特に「入院費用」「病棟・病室の設備」の項目)において改善が見られた。しかし、患者アンケートにおいて患者の75%が知りたいと考えている「平均待機期間」に関して、掲載している施設はなく、改善も見られなかった。一般病院については、緩和ケア情報の掲載内容において大幅な改善が見受けられた。以上より、がん診療連携拠点病院において必須要件となっている「患者や家族への緩和ケアに関する情報提供体制の整備」は進められていることが明らかとなったが、改善の余地はあると考えられる。